

講義コード	11C0274001	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	産業組織論 1				渡部 真弘			第 1 期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	産業組織論で用いられる基本的概念を学び、不完全競争市場での企業行動についての理解を深めることを目的とする。プライステイカーではない企業行動を分析するために必要な知識を修得することを目的とする。								
到達目標	不完全競争市場における企業行動を経済学的視点で分析することができる。文字式を用いた理論的分析に習熟する。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	本科目では、週に少なくとも 4 時間（計60時間以上）の自主的な学修が必要である。講義内容を復習するための演習問題及びその解答を WebClass を通じて配布する。演習問題は試験対策には不可欠であるので、各自積極的に取り組むことが望ましい。								
授業計画	<p>【第 1 回】 第 1 期で扱う内容に関するガイダンス、予備知識の確認試験</p> <p>【第 2 回】 産業組織分析の基礎（1）：消費者理論</p> <p>【第 3 回】 産業組織分析の基礎（2）：消費者理論</p> <p>【第 4 回】 産業組織分析の基礎（3）：生産者理論</p> <p>【第 5 回】 産業組織分析の基礎（4）：部分均衡分析の基礎、余剰分析</p> <p>【第 6 回】 独占企業の価格設定（1）：利潤最大化条件</p> <p>【第 7 回】 演習問題の解説</p> <p>【第 8 回】 第 1 期前半のまとめ</p> <p>【第 9 回】 独占企業の価格設定（2）：独占均衡の図示</p> <p>【第10回】 独占企業の価格設定（3）：独占均衡における死荷重</p> <p>【第11回】 独占企業の価格設定（4）：ラーナーの独占度</p> <p>【第12回】 第 3 次価格差別（1）</p> <p>【第13回】 第 3 次価格差別（2）</p> <p>【第14回】 演習問題の解説</p> <p>【第15回】 第 1 期後半のまとめ</p>								
成績評価の方法	評価割合は演習問題20%、中間試験40%、期末試験40%とする。演習問題は10回分程度を予定しており、数回分の演習問題の提出は義務となる。								
フィードバックの内容	全ての演習問題・試験問題の模範解答・得点を WebClass を通じて配布する。一部の演習課題の解説を授業時間内で行う。								
教科書									
指定図書									
参考書	『プラクティカル 産業組織論』泉田 成美、柳川 隆（有斐閣アルマ）2001、『経営の経済学 新版』丸山 雅祥（有斐閣）2011、『新しい産業組織論：理論・実証・政策』小田切 宏之（有斐閣）2001								
教員からのお知らせ	上記の授業計画に基づいて講義を進める。履修者の理解度を考慮しながら授業を進めるので、進度によって内容を変更することがある。講義内容に関する質問は授業中に積極的に行って構わない。教科書は指定せず、担当教員が配布する資料に基づいて講義を行う。								
オフィスアワー	本科目に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワー（金曜日 3 時限、2号館516研究室）にて受付ける。個別の質問や相談を希望する場合は、担当教員のオフィスアワーを利用するか、メールにて事前に日程調整を行うこと。								
その他	履修に関する主な注意点は以下の通りである。 （1）本学部開講科目である数学基礎で扱った関数や微分に関する知識を履修要件とする。 （2）スライドの説明とノートの書き取りは同時に進行する。ノート書き取り中は教員が無言で待機すべきと考える学生には本科目の履修は勧めない。 （3）演習問題及び試験問題は単語穴埋めのような簡易なものではない。論理的思考力を高めたいという学生には本科目の履修を勧める。								